

※【新】：新規事業、【地】：地域振興局長からの提案、意見等反映事業

農政部

事業名 [事業改善シート番号] (関係するSDGsのアイコン)		事業内容及び金額 (千円) (※は成果目標)							
◎ 皆が憧れる経営体の育成と人材の確保									
1 地域計画（農地利用最適化）推進事業費 [090602][090603] <div><div><div>2 食糧をゼロに</div><div>8 働きがいも経済成長も</div><div>11 住み続けられるまちづくりを</div><div>15 陸の豊かさも守ろう</div></div></div>		地域の農業と集落の維持・発展を図るため、将来の農地利用の姿を明確化する市町村の「地域計画」に基づく取組を支援するとともに、計画の充実に向け、県支援体制の強化を図ります。 <ul style="list-style-type: none">・農業農村支援センターを中心とした現地支援チームにより市町村の「地域計画」ブラッシュアップに向けた支援を強化・策定された「地域計画」の早期の実践・ブラッシュアップを促進するため研修会を開催・集落住民が主体となって取り組む、地域の特性を活かした新品目の導入等の取組を支援・地域の話合いに基づく農用地保全の取組を支援・農地中間管理機構を活用した「地域計画」に基づく農地の賃借及び売買による集積・集約化を促進							
農村振興課		<div><div>*中核的経営体数：10,061経営体(2022年度)→10,600経営体(2026年度)</div><div>*担い手への農地集積率：43%(2022年度)→51%(2026年度)</div><table><tr><td>R 8 予算</td><td>585,788</td><td>R 7 当初</td><td>643,335</td></tr></table></div>				R 8 予算	585,788	R 7 当初	643,335
R 8 予算	585,788	R 7 当初	643,335						
2 次代の農業を支える担い手支援事業費 [090601][090602] <div><div><div>2 食糧をゼロに</div><div>4 質の高い教育をみんなに</div><div>5 ジェンダー平等を実現しよう</div><div>8 働きがいも経済成長も</div><div>10 人や国の不平等をなくそう</div></div></div>		新規就農を一層推進するとともに、多様な担い手の育成と人材活用を促進するため、農業のイメージアップを図る取組、新規就農者や親元就農者の経営発展等への支援、雇用人材のマッチング等を行います。 <ul style="list-style-type: none">・ホームページ「デジタル農活信州」において、活躍する若手農業者等の事例を紹介するとともに、就農支援策等の情報を発信・新規就農者の機械や施設の導入及び就農準備や経営開始に要する資金を支援【新】・実践型経営農場を整備し、地域の伴走により農業経営体の収益向上を支援・1日農業バイトアプリの利用者拡大の取組を支援・農福連携の先進事例の紹介等により取組を拡大【新】・経営発展を目指す農業者を掘り起こし、専門家の支援による円滑な法人化を促進【新】・企業参入を促進するため農地カルテの整備など受入基盤を構築							
農村振興課		<div><div>*新規就農者数(49歳以下)：215人/年(2026年度)</div><div>*中核的経営体数：10,061経営体(2022年度)→10,600経営体(2026年度)</div><table><tr><td>R 8 予算</td><td>1,164,991</td><td>R 7 当初 [R7.6月補正等]</td><td>1,279,381 [368,853]</td></tr></table></div>				R 8 予算	1,164,991	R 7 当初 [R7.6月補正等]	1,279,381 [368,853]
R 8 予算	1,164,991	R 7 当初 [R7.6月補正等]	1,279,381 [368,853]						

事業名 [事業改善シート番号] (関係するSDG s のアイコン)		事業内容及び金額 (千円) (※は成果目標)			
3 農業リーダー育成事業費 [090601] <div><div>2 飢餓をゼロに</div><div>4 質の高い教育をみんなに</div><div>5 ジェンダー平等を促進しよう</div><div>8 働きがいも経済成長も</div></div> 農村振興課	農業・農村の発展と農業生産を維持するため、地域の営農活動や農業生産の中心となる農業リーダーの育成、女性農業者の活動支援を目的とした研修等を行います。 ・ 青年農業者等の栽培技術や経営力向上のための講習会等を実施 ・ 伝統食等の農村文化の伝承のため、地域の女性農業者グループが行う講演会や調理実習への専門家の派遣等を実施				
	*農村生活マイスター認定人数 15名/年 (2026年度)				
	R 8 予算	9,805	R 7 当初	9,813	
◎ 稼げる農業の展開と信州農畜産物の持続的な生産					
4 信州農業の未来を創るスマート農業導入支援事業費 [090304][090305][090401] [090402][090406][090503] [090601] <div><div>2 飢餓をゼロに</div><div>4 質の高い教育をみんなに</div><div>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</div></div> 農業技術課 園芸畜産課 農地整備課 農村振興課	地域計画の実現により、持続可能な地域農業の構築を図るため、スマート農業技術の導入と人材の育成のほか、モデル的な取組を創出・展開し、農業生産構造の転換を加速化します。 【新】・アドバイザーチームの派遣による技術導入に向けた伴走支援 ・ 農業支援サービス事業の情報交換会の開催 【新】・農業支援サービス事業体の立ち上げ及び拡大支援 【拡】・農作業省力化に向けたスマート農業機械等の導入支援や基盤整備事業 ・ 各品目におけるスマート農業技術の実証や新技術の試験研究 【新】・スマート農業アプリの導入による普及指導員のスキルアップ 【拡】・農業大学校のスマート農業教育環境の整備				
	*大規模水稻経営体におけるスマート農業技術の導入率： 38% (2023年度)→46.6% (2026年度)				
	R 8 予算	500,620	R 7 当初	303,884	
5 くだもの王国づくり推進事業費 (一部再掲) [090401][090402] <div><div>2 飢餓をゼロに</div><div>4 質の高い教育をみんなに</div><div>8 働きがいも経済成長も</div><div>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</div><div>13 気候変動に具体的な対策を</div></div> 園芸畜産課	果樹生産者の稼ぐ力の向上に向け、経営改善による安定生産や品質向上等への取組を支援し、生産力の強化を図ります。 ・ 品質の揃った高品質な果実の出荷に向け、果樹棚や冷蔵機器等の導入を支援 ・ りんごの高密度植栽培やぶどう「クイーンルージュ®」の導入等を促進するため、現地推進チームにより支援 ・ ももの産地の若返りを促進するため、ももフォーラムを開催 ・ 樹園地継承の優良な取組の共有などにより、各地域の継承を推進				
	*果実産出額：870億円 (2021年度)→929億円 (2026年度)				
	R 8 予算	295,754	R 7 当初 [R7.1月補正]	362,854 [114,999]	

事業名 [事業改善シート番号] (関係するSDGsのアイコン)		事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)			
6 産地生産力強化対策事業費(一部再掲) [090401]    	園芸畜産課	産地の生産力を強化するため、高品質で付加価値の高い園芸作物等の生産・供給体制の確立を支援します。 ・革新的な技術の普及やマーケットニーズに対応した生産施設・機械等の導入を支援 ・担い手不足の解消と生産性の向上に必要なスマート農業機械の導入を支援 ・災害に強い園芸産地づくりに必要な施設・機械の導入を支援 【新】・高温に適応できる農業への転換に向け、温度抑制効果の高い資材等の導入を推進			
		*果実産出額：870億円(2021年度)→929億円(2026年度)			
		R 8 予算	337,902	R 7 当初 [R7.1月補正]	670,301 [114,999]
7 主要穀類競争力向上推進事業費 [090301]   	農業技術課	主食用米の安定的な生産・流通、麦類・大豆・そば等の本作化や生産性向上を推進するため、産地の実情に合わせた機械・施設の整備、優良種子の生産、県オリジナル品種のブランド力強化の取組等を支援します。また、主食用米以外のコメ(用途限定米穀)についても県内への安定供給を図るため、資材費の高騰に対して支援を行います。 ・多様なニーズに応じた品目・品種への転換や品質向上を支援 ・主要穀類乾燥調製施設や農業機械等の導入を支援 【新】・用途限定米穀の県内への安定供給を支援			
		*水稻の単位面積当たり収量の全国順位： 2位(2024年度)→1位(2026年度)			
		R 8 予算	610,817	R 7 当初 [R7.1月補正]	1,251,023 [1,337,748]
【新】 8 持続可能な畜産経営推進事業費 [090406]   	園芸畜産課	畜産経営体の収益構造改善を図るため、生産性・付加価値向上に資する経営基盤の強化や構造転換に向けた取組を支援します。 ・畜産環境対策や飼養環境改善等に必要な施設整備を支援 ・暑熱対策設備や省エネルギー対策設備等の生産性向上に必要な機械・設備等の導入を支援 ・大型運搬車両の導入や輸送環境の改善の取組を支援			
		*畜産物産出額：269億円(2020年度)→279億円(2026年度)			
		R 8 予算	455,128	R 7 当初	0
9 畜産振興施設整備事業費 [090406]   	園芸畜産課	畜産の収益性の向上やコスト削減等を図るため、中心的な畜産経営体の施設整備を支援します。 ・畜産経営体等が堆肥の高品質化等に必要な施設・機械を導入する取組を支援			
		*収益性向上のための施設整備数：2件(2026年度)			
		R 8 予算	65,195	R 7 当初 [R7.1月補正]	75,193 [551,200]

事業名 [事業改善シート番号] (関係するSDGsのアイコン)		事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)											
◎ 環境にやさしい農業など持続可能な農業の展開													
<div>10 ひろがる つながる 高まる 有機農業プロジェクト事業費</div> <div>[090202][090302]</div> <div><div><div>9</div><div>産業と経済活動の環境を保全する</div></div><div><div>13</div><div>気候変動に具体的な対策を</div></div><div><div>15</div><div>陸の豊かさも守ろう</div></div></div> <div>農産物マーケティング室 農業技術課</div>		<div>農業生産活動に由来する環境負荷の低減を図り、ゼロカーボンの実現や持続可能な農業に資するため、地域ぐるみの有機農業の展開、実需者・消費者など関係者の理解醸成を推進します。</div> <div><div>【拡】</div><div>・有機農業へのステップアップの仕組みづくり</div></div> <div><div>【拡】</div><div>・地域ぐるみの有機農業の取組拡大（オーガニックビレッジ創出支援等）と担い手確保</div><div>・有機農業実践者の主体的な取組促進（実践者相互の情報交換など）</div><div>・有機農業等の環境にやさしい農業に対する消費者理解の醸成</div></div> <div>*環境にやさしい農業や有機農業に取り組む面積： 2,465ha(2021年度)→3,494ha(2026年度) *オーガニックビレッジ宣言をした市町村数：8市町村（2026年度） *有機農業で生産された農産物を使用した給食を実施した学校の割合： 28%（2021年度）→38%（2026年度）</div> <table><tr><td>R 8 予算</td><td>110,682</td><td>R 7 当初</td><td>98,158</td></tr></table>				R 8 予算	110,682	R 7 当初	98,158				
R 8 予算	110,682	R 7 当初	98,158										
◎ 県産農畜産物の販路開拓・拡大と食の地産地消の推進													
<div>11 「NAGANOの食」輸出拡大事業費</div> <div>[090201][090301]</div> <div><div><div>2</div><div>飢餓をゼロに</div></div><div><div>8</div><div>働きがいも経済成長も</div></div></div> <div>農産物マーケティング室 農業技術課</div>		<div>県産農畜産物の輸出拡大を戦略的に進めるため、競争力の高い「ぶどう」「コメ」「花き」を重点品目として、カナダや欧州等をターゲットに流通事業者と連携した販売促進活動を展開し、生産者や輸出事業者等、関係者が一体となった輸出先国との商流の維持・輸出拡大の取組を支援します。</div> <div><div>・長野県農産物等輸出事業者協議会の取組を支援</div><div>・輸入事業者の招へいや現地小売店等における販売促進活動の展開、SNS等を活用した産地PR活動などを実施</div></div> <div>*県産農畜産物の輸出額： 25億8,392万円(2024年度)→27億5,000万円(2026年度)</div> <table><tr><td>R 8 予算</td><td>27,248</td><td>R 7 当初</td><td>27,194</td></tr></table>				R 8 予算	27,248	R 7 当初	27,194				
R 8 予算	27,248	R 7 当初	27,194										
<div>12 食の地域内循環推進事業費（一部再掲）</div> <div>[090202]</div> <div><div><div>2</div><div>飢餓をゼロに</div></div><div><div>8</div><div>働きがいも経済成長も</div></div><div><div>12</div><div>つくる責任 つかう責任</div></div></div> <div>農産物マーケティング室</div>		<div>県産農畜産物の地域内での利用促進を図るため、学校給食や観光分野、食品加工等における活用と消費拡大に向けた取組を進めます。</div> <div><div>【新】</div><div>・農産物直売所における県産米の販売促進のため、小型精米機等の導入を支援</div></div> <div><div>【新】</div><div>・県産米の生産状況、流通の見通し、価値や魅力、価格形成の仕組み等を発信し消費者と共有するウェブサイトの開設</div><div>・県産農産物の地産地消に向け、適正価格による安定した供給体制の仕組みづくりを検討するための会議を開催</div></div> <div><div>【新】</div><div>・伝統野菜等の地域の特色ある食材を活かした観光地域づくりへの取組支援や生産者と実需者との交流会を開催</div><div>・環境にやさしい農産物をテーマとした食育や、幼稚園等における親子給食を実施</div></div> <div>*売上高1億円を超える農産物直売所売上高： 176億円(2021年度)→186億円(2026年度)</div> <table><tr><td>R 8 予算</td><td>18,680</td><td>R 7 当初</td><td>11,477</td></tr><tr><td></td><td></td><td>[R7.1月補正]</td><td>[8,831]</td></tr></table>				R 8 予算	18,680	R 7 当初	11,477			[R7.1月補正]	[8,831]
R 8 予算	18,680	R 7 当初	11,477										
		[R7.1月補正]	[8,831]										

事業名 [事業改善シート番号] (関係するSDGsのアイコン)		事業内容及び金額 (千円) (*は成果目標)															
◎ 安全安心で持続可能な農村の基盤づくり																	
13 農業農村整備補助公共事業費 [090503][090504] <div><div><div></div><div>2 飢餓をゼロに</div></div><div><div></div><div>6 安全な水とトイレを世界中に</div></div><div><div></div><div>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</div></div><div><div></div><div>8 働きがいも経済成長も</div></div><div><div></div><div>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</div></div><div><div></div><div>11 住み続けられるまちづくりを</div></div><div><div></div><div>12 つくる責任つかう責任</div></div><div><div></div><div>13 気候変動に具体的な対策を</div></div><div><div></div><div>15 陸の豊かさも守ろう</div></div></div>		地域計画を踏まえ、生産性の向上や担い手への農地の集積・集約化を図るため、農地の区画拡大や畑地化、水管理の省力化を進めるとともに、頻発化・激甚化する自然災害に対応するため、排水機場の更新や防災重点農業用ため池の耐震化等の県土強靱化を進めます。 【新】・農業水利施設の保全管理体制を構築する「水土里ビジョン」の策定支援 【拡】・農業水利施設の維持管理費縮減に向けた省エネ・再エネ化の支援 <table><tr><th>区 分</th><th>予算額</th></tr><tr><td>生産基盤</td><td>5,916,588千円</td></tr><tr><td>農地防災</td><td>4,025,089千円</td></tr><tr><td>農村整備</td><td>815,181千円</td></tr><tr><td>農 道</td><td>102,375千円</td></tr><tr><td>計</td><td>10,859,233千円</td></tr></table> <div>*水門を自動化・遠隔化した農業水利施設の箇所数（累計）： 48か所(2021年度)→77か所(2026年度) *ため池の防災工事(豪雨・地震対策工事、廃止工事)の完了箇所数(累計)： 57か所(2021年度)→121か所(2026年度)</div>				区 分	予算額	生産基盤	5,916,588千円	農地防災	4,025,089千円	農村整備	815,181千円	農 道	102,375千円	計	10,859,233千円
区 分	予算額																
生産基盤	5,916,588千円																
農地防災	4,025,089千円																
農村整備	815,181千円																
農 道	102,375千円																
計	10,859,233千円																
農地整備課		R 8 予算 [債務負担行為額]	10,859,233 [13,042,000]	R 7 当初 [R7.9月補正等]	11,294,659 [3,218,324]												
14 農業農村整備県単独公共事業費 [090503][090504] <div><div><div></div><div>2 飢餓をゼロに</div></div><div><div></div><div>6 安全な水とトイレを世界中に</div></div><div><div></div><div>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</div></div><div><div></div><div>8 働きがいも経済成長も</div></div><div><div></div><div>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</div></div><div><div></div><div>11 住み続けられるまちづくりを</div></div><div><div></div><div>12 つくる責任つかう責任</div></div><div><div></div><div>13 気候変動に具体的な対策を</div></div><div><div></div><div>15 陸の豊かさも守ろう</div></div></div>		土地改良区等が行う水路の改修に対する補助のほか、緊急的な山腹水路等の改修、地すべり防止施設の補修等を行います。 【新】・ほ場整備事業の構想策定を支援 <table><tr><th>区 分</th><th>予算額</th></tr><tr><td>生産基盤</td><td>88,687千円</td></tr><tr><td>農地防災</td><td>218,893千円</td></tr><tr><td>計</td><td>307,580千円</td></tr></table> <div>*土地改良区等が行う農業水利施設等の整備地区数：54地区(2026年度) *緊急的な地すべり対策、地すべり防止施設の補修地区数：6地区(2026年度)</div>				区 分	予算額	生産基盤	88,687千円	農地防災	218,893千円	計	307,580千円				
区 分	予算額																
生産基盤	88,687千円																
農地防災	218,893千円																
計	307,580千円																
農地整備課		R 8 予算	307,580	R 7 当初 [R7.9月補正等]	290,370 [61,909]												

事業名 [事業改善シート番号] (関係するSDGsのアイコン)		事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)							
◎ 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり									
<div>15 農ある暮らし応援事業費 [090601]</div> <div><div><div>2 飢餓をゼロに</div><div>8 働きがいも経済成長も</div><div>11 住み続けられるまちづくりを</div><div>15 陸の豊かさも守ろう</div></div></div>		<div>地方回帰の流れの中で、農ある暮らしを実践する者を増加させるため、アドバイザー及び地域サポーターによる相談活動や栽培セミナー等を実施することで、多様な担い手による農地の有効利用を図り、農村地域の維持・保全を推進します。</div> <div><div>・農ある暮らしアドバイザー及び地域サポーターによるセミナーの実施や県内各地の農ある暮らし実践活動の支援</div><div>・農業未経験者の就農・定着を図るため、発信力を強化するとともに、農ある暮らしの相談・体験・学びの機会を提供</div></div> <div>*農ある暮らし体験・研修セミナー受講者数：300人/年(2026年度)</div> <table><tr><td>R 8 予算</td><td>9,330</td><td>R 7 当初</td><td>9,191</td></tr></table>				R 8 予算	9,330	R 7 当初	9,191
R 8 予算	9,330	R 7 当初	9,191						
農村振興課									
<div>16 農村型地域運営組織(農村RMO)形成推進事業費 [090603]</div> <div><div><div>2 飢餓をゼロに</div><div>8 働きがいも経済成長も</div><div>11 住み続けられるまちづくりを</div><div>15 陸の豊かさも守ろう</div></div></div>		<div>地域コミュニティの維持による集落機能の再編を図り、地域で支え合う農村づくりを支援するため、複数の集落、自治会、社会福祉協議会等の多様な関係者が連携し、農家と非農家が一体となり農用地の保全、資源管理、生活扶助等に取り組む農村型地域運営組織(農村RMO)の形成を推進します。</div> <div><div>・農村RMOの形成を進めるため、伴走支援体制を構築</div><div>・農村RMOが実施する調査、計画の作成、実証事業を支援</div></div> <div>*農村型地域運営組織数：2組織(2022年度)→8組織(2026年度)</div> <table><tr><td>R 8 予算</td><td>53,500</td><td>R 7 当初</td><td>62,002</td></tr></table>				R 8 予算	53,500	R 7 当初	62,002
R 8 予算	53,500	R 7 当初	62,002						
農村振興課									